

西土佐支所管内より



散歩が欠かせません

うつのみや かずみ
宇都宮 和実さん (79)
こうたくん(1)

朝と晩、1日2回の散歩が欠かせません。こうたに限らず私自身も健康のために散歩を続けています。散歩歴はかれこれ10年にはなります。こうたは生後3カ月の時にペットショップで買いました。犬種はチワワです。とても人懐こい性格なので、誰でも大好きですよ。

大月支所管内より



水を得た魚です

おかだ せいじろう
岡田 征二郎さん(80)
とよ 登代さん (77)

夫婦揃って大月町生まれですが、大阪で40年働き、退職後に帰郷しました。地元は海と山の幸が豊富で空気も美味しいので、ピチピチしています。まるで水を得た魚ですよ(笑)。

借りた畑で落花生やスイカなどを作っています。道の駅に出荷したり、県外に暮らす子供たちに贈ったり。毎日が楽しいです。

幡豆地区



から こんにちは 今月の 気になる人

宿毛支所管内より



山奈ふれあい市へいらっしゃい

ほりおか ひろこ
(左) 堀岡 弘子さん(78)
かわた あきこ
(右) 川田 秋子さん(57)

直販所「山奈ふれあい市」では、地元で採れた野菜や手作りの赤飯、餅、女性部で造った味噌などを販売しています。出品者が店番をしていて、今日の当番は私たち2人です。日曜日以外は営業していますよ。

ここは気軽に寄れるお店で、雑談しに来る方もいます。皆さんもぜひご来店くださいね。

三原支所管内より



奥さんさまさまです

みやた とみぞう
宮田 富造さん(69)

シシトウの出荷に来ました。今年は植え付けが早かったせいか、昨年同期の3倍の出荷量です。夫婦で収穫しますが、パック詰めは妻の担当です。出荷場から「詰め方が丁寧」と褒められるし、奥さんさまさまですよ。

シシトウの他、ブロッコリーやイチゴ、ニラ、水稲も出荷しています。

中村支所管内より



虫捕りが大好きだよ

うえむら ぎんじゅ
植村 銀樹くん(6)

お父さんと一緒にカブトムシとクワガタを育ててるよ。卵をかえして幼虫からさなぎ、成虫にするんだ。今年3歳になる弟と虫捕りするのも大好きで、よく捕りに行くよ。

前はパワーショベルに乗ったおんちゃんに憧れたけど、今は何になりたいか分らん。幼稚園では英語を勉強してるよ。

中村支所管内より



年を重ねて丸くなりました

わたなべ
渡辺 レポさん(40)

年齢詐称じゃないかですって？ 本当に40年は生きています。子どもの頃に家族の一員になりました。凶暴な性格から若い頃はよく暴れましたが、今ではかなり丸くなりました。

中型の熱帯魚「レボリナス」で、幻のレボとも呼ばれている珍種です。朱と黒の縦縞模様が美しいでしょう。私の自慢です。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 三崎支所

女性部員とイモ植え付け



真剣な表情でサツマイモの苗を植える園児

土佐清水市立下ノ加江保育園の園児15人は6月17日、女性部幡多地区三崎支所が招待した同市の畑に、サツマイモの品種「土佐紅」の苗50本を植え付けました。部員10人も参加し、園児に植え方を教えました。同支部が食農教育を実施するのは初めて。同園に提案し、実現しました。部員の上野厚子さんが畑を提供、管理し、園児は10月頃にイモ掘りも体験予定です。また、同支部はもち加工場を利用してイモもちのプレゼントも検討しています。

3 地区本部

200人の女神が15種目競技



混合で楽しんだフラフープを使った種目

女性部幡多地区は6月12日、四万十市の地区本部で女神の運動会を開きました。高西地区の部員40人を招き、計200人が4チームに分かれて風船割りや洗濯物リレー、パン食い競争など、15の種目を楽しみました。幡多と高西地区は、同JAに統合する前の平成28年度に姉妹JA協定を締結して以来、合同の運動会を通して親睦を深めています。今年も地区やチームを超えて交流できるように、混合で楽しむ3種目を追加しました。

6 中村支所

青壮年部員ともち米植え付け



もち米の苗を植えた八東小学校の5年生ら

四万十市立八東小学校の5年生8人は6月18日、青壮年部幡多地区本部中村支所が招待した同市の田んぼに、もち米の品種「サイワイモチ」の苗を植ええました。児童は稲刈りや年末のもちつきを楽しみに待ちます。同支部が、地元愛を育むきっかけになればと招待しました。山崎秀和副支所長が植え方を教え、児童は山崎副支所長と一緒に一列に並んで1アール分を丁寧に手で植えました。同支部は同校の他、八東保育園の園児の食農教育にも貢献しています。

4 大方支所

キュウリ新品種・技術に注目



種苗会社のキュウリ苗を熱心に見る生産者

幡多地区園芸研究会園芸部キュウリ部会は6月26日、黒潮町で幡多地区キュウリ研修会を開きました。新品種の苗の紹介から、スマート農業など最先端の農業技術の紹介まで幅広い内容で、同町や土佐清水市、宿毛市、四万十市から60人の生産者が参加して熱心に学びました。種苗会社4社は、各品種の耐病性の高さや果実の長さなど、長短を分かりやすく紹介。また、幡西営農センターの岡田弘和指導員は、黄化えそ病対策の実証試験結果を報告しました。



乾シイタケを確認する入札会社の池田社長（中）ら

1 西土佐支所

50年ぶりに現地入札会 乾シイタケ価格を決定

幡多地区特産部は6月20日、西土佐支所で原木栽培の乾シイタケの現地入札会を開きました。価格交渉などを経て、四万十市と四万十町から出品された88本（箱）、計1.3トンの価格が決まりました。同地区で入札会が開かれるのは約50年ぶりです。両市町は古くから原木シイタケの産地ですが、近年では出荷量の減少で、出荷先の全農椎茸事業所（埼玉県）で入札を行うようになりました。しかし、今年度は持ち込み運賃の削減や、生産者からの「評価の確認や価格交渉をしたい」といった声を受け、JAに入札会社と同事業所を招きました。入札会社は池田商店（大阪府）の1社。同社の池田眞代表取締役社長と全農椎茸事業所の萩原啓貴所長が現物を確かめ、形や色、粒そろいによって仮価格を決めました。出品された乾シイタケは1本当たり5〜30キロで、銘柄は特中厚が中心でした。仮価格の提示を受けた出品者は「もう少し上げてほしい」などと池田社長と交渉。最終的な価格を決めました。



モデルガンの取り扱いを学ぶ住民

2 大月支所

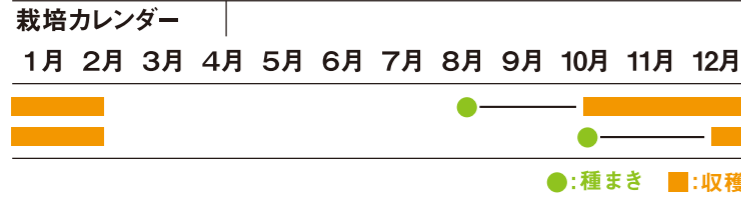
猿被害対策を強化 モデルガン貸出しスタート

大月町有害鳥獣被害対策協議会は令和元年度、猿追い払い用のモデルガンの貸出しを始めました。初年度は同町の周防形集落が借り受け、猿による農林水産物への被害軽減を目指します。協議会がモデルガンを貸し出すのは県内で初めてです。同協議会は、モデルガン3丁とバイオBB弾、安全ベストなどをセットにして1年間、無料で貸し出します。弾は生分解性プラスチックで、2〜3年で自然に戻ります。猿の追い払いに効果が期待できます。同町では年間100頭以上の猿が捕獲されていますが、農林水産物への被害が後を絶ちません。同集落は同年度、県が推進する「野生鳥獣に強い高知県づくり事業」の支援集落に選定され、集落ぐるみで鳥獣被害対策に取り組んでいます。集落の住民は6月11日、猿被害対策勉強会に参加し、対策とモデルガンの使い方を学びました。同協議会は大月町やJA高知県大月支所、同JA幡西営農センター鳥獣被害対策専門員、森林組合などで構成されています。

初心者（家庭菜園）向け

シュンギクを作ろう!

土壌の乾燥に弱いため、保水力のある畑を選びます。厚まきを避け、計画的にまきましよう。適期収穫します。



① 畑の準備

葉菜類は土が肥えているほど作りやすいため、早めに堆肥や稲わらなどの有機物をすき込んで、15～20cmほどの深さに耕しておきます。

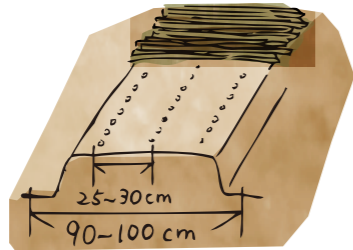
施肥は元肥を主体とします。施肥量は1㎡あたり苦土石灰100g、有機1号ペレット200g程度で、土とよく混ぜておきます。畝幅は90～100cmです。

② 種まき

乾燥すると発芽が悪くなるため、種まき前に十分に灌水しておきます。

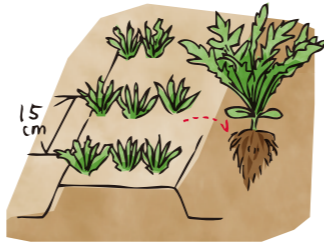
1㎡あたり必要な種子量は4mlです。25～30cm間隔で3～4条、厚まきにならないように均一に薄くまきます。種子は好日性なので、種が多少見える程度で覆土は薄めとします。

種まき後は、乾燥防止のために切りわらなどをかけておくと良いでしょう。



③ 間引き

本葉7～8枚程度になったら、順次間引いて収穫します。最終的に株間が15cmになるように採光を良くします。

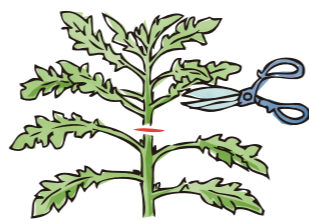


④ 追肥

生育が順調であれば必要ありません。葉色が悪い場合は、1㎡あたり園芸化成（S550）を10g程度施用します。

⑤ 収穫

草丈20cm、本葉10枚程度になったら下葉を4～5枚程度残して摘み取ります。後はわき芽が15cm程度に伸びたら、同様に摘み取り、収穫します。



ベランダでできるキッチンガーデン③

シュンギク

収穫方法には、根を付けた「抜き取り収穫」と、わき芽を摘み取る「摘み取り収穫」があります。キッチンガーデンには、わき芽を次々と収穫でき、栽培期間が長い「摘み取り収穫」が適しています。

発育も生育も適温が15～20度で、日当たりの良いベランダなら3月～10月まで種まきすることができます。深さ15cm以上のプランターに市販の培養土を入れ、条間15cmに筋まきします。

好光性種子なので薄く覆土して軽く押さえ、たっぷり水やりします。発芽するまで乾燥させないようにし、発芽したら順次間引き、本葉4～5枚のときに株間15cmにします。追肥は1000倍の液肥を1週間置きに施します。

草丈が20～30cmになったら、下の方の葉を4～5枚残して株の上部を摘み取り、わき芽を出させます。わき芽が15cmくらい伸びたら順次収穫していきます。秋まきのシュンギクを春まで残しておくと、黄色や半黄半白の美しい花が咲きます。もともと花を觀賞する植物で、食用としているのは東アジアだけです。



えいのう〜

露地生姜部は6月21日、部員の山本成文さんのほ場で、露地シヨウガの土寄せ講習会を開きました。追肥や中耕、土寄せ、マルチング材の散布までの一連の栽培管理を実演しました。土寄せは、2次茎が分けつし始めた頃を目安に行います。山本さんと沢田竜祐部長が、実際に畝に沿って管理機を走らせて実演しました。また、沢田部長は、マルチング材の必要性と効果も紹介。保湿効果や草の発生の抑制効果があることから、参加した部員に配布を勧めました。



土寄せ講習会（6月21日）

追肥から土寄せ

露地生姜部だより〔No.2〕
幡多農業センター 横山栄和
(0880-341-5301)

GAPって何? 皆さんも取り組みませんか?

幡多農業振興センター 二宮千登志
(0880-341-7070)

四万十市消防署に「ひとつずついいねーで確認 火の用心」という標語があるのを「存知でしょうか。また、JRの車掌さんが、駅で出発ごとに、乗客がいらないか、問題が起きていないか、身振りを交えて指さし確認しているのを見たことがないでしょうか。毎日、何百回と繰り返していることです。一度のミスで大きな事故が生じることから、ミスを防ぐためにこうした点検を徹底しています。

農業を行う場合でも、ミスが生じれば大きな被害が生じます。トラクターや管理機、刈り払い機等の取り扱いを間違えて、怪我をすることが実際に起きています。農業の種類や希釈倍率を間違えると、場合によってはその年の出荷ができなくなることもあります。出荷した農産物の袋の中に、カッターナイフの刃やたばこの吸い殻などの異物が混入している、出荷先からクレームが来ることもあります。それまでに築いてきた信頼を、このような一つのミスで失うことにもなりかねません。

このような皆様の怪我やちやうとした「うっかりミス」を防ぎ、安全な農産物を安心して食べてもらうための手段として、消防署の標語やJRの車掌さんのように、農作業を行うときに、ひとつずつ確認していくことがGAPです。このようなGAPの実施は、スーパーや流通業者から求められることが多くなってきました。GAPの具体的な取り組みとしては、農作業を行うときに確認した方がよい項目を書いた点検シートを作り、毎日、無意識に行っていることを、点検シートをもとに1つひとつ確認して行います。無意識に行ってきたことを意識して行うことになり、少し面倒です。ですが、JRの車掌さんのように、これを行うことでミスが少なくなります。また、使っている道具がなくなっていないか、ひと目見るだけ

で確認できるように、整理整頓することも重要です。毎日の行動です。できるだけ簡単に確認できるようにしましょう。農産物の安全・安心は生産から流通まで一貫して行われる必要があります。JAの集出荷場では、農家の皆さんが生産した農産物に異物が混入しないように、集出荷場の整理整頓や着帽等のGAPに取り組んできました。農家の皆さんもGAPに取り組んでみてはいかがでしょうか。

農業振興センターはJAとともにこのようなGAPの取り組みを進めています。分からないことがあれば、気軽に営農指導員や普及指導員にお問合せください。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

▼皆さん、ご来店ありがとうございます。地元直販所と共に今後もぜひご利用ください！

▼高知県の女性は「はちぎん」と言われるように、本当に活発ですよ。頼もしいです。

(大方支所管内・64歳)



▼皆さん、ご来店ありがとうございます。地元直販所と共に今後もぜひご利用ください！

▼高知県の女性は「はちぎん」と言われるように、本当に活発ですよ。頼もしいです。

「とさのさと」に行く前に特集を見て参考になりました。商品の多さと店内の広さにビックリ!! 切り花の種類も豊富でアレンジメントに活用しています。先日はスモークツリーを購入しました。

(大方支所管内・56歳)

「とさのさと」は活気があって楽しいです。高知市へ出掛けた時は必ず寄っています。元旦、小夏、トマト……。県外で生活する子どもたちや孫たちに、せっせと送っています。

(中村支所管内・67歳)

先日「とさのさと」でピワを買いましたが、こんなに大きいピワは初めて見ました!

▼料理も頭の体操になることをご存知ですか? 美味しい料理を食べられて二石一鳥ですよ。

(宿毛支所管内・80歳)

▼高知県の女性は「はちぎん」と言われるように、本当に活発ですよ。頼もしいです。

▼取材担当者も楽しく取材しているページです。皆さん、とても気さくで話が弾み、つい長話になることも(笑)。

▼取材担当者も楽しく取材しているページです。皆さん、とても気さくで話が弾み、つい長話になることも(笑)。

▼取材担当者も楽しく取材しているページです。皆さん、とても気さくで話が弾み、つい長話になることも(笑)。

「今月の気になる人」では、いろいろな人の顔を見ることができて気持ちも伝わるので毎月楽しみです。「輝け! 新農人」もとても良いです。

(大月支所管内・82歳)

▼取材担当者も楽しく取材しているページです。皆さん、とても気さくで話が弾み、つい長話になることも(笑)。

▼取材担当者も楽しく取材しているページです。皆さん、とても気さくで話が弾み、つい長話になることも(笑)。

▼取材担当者も楽しく取材しているページです。皆さん、とても気さくで話が弾み、つい長話になることも(笑)。

INFORMATION

お知らせ



管内の女性なら、どなたでも参加できます 女性部教室参加者募集中

JA高知県女性部幡多地区は今年度、女性部員が講師を務める女性部教室を開いています。現在、おからを使った料理教室と、墨彩画による年賀状・絵手紙教室の参加者を募集しています。栄養豊富なおからを使った簡単レシピを学びたい方、または年賀状や絵手紙を手作りしたい方、ぜひご参加ください。

【料理教室】

開催日時 令和元年11月6日(水) 13:30~15:30

開催場所 JA高知県幡多地区本部
(四万十市右山五月町7番40号)

講師 小野川和世さん

参加費 500円

【絵手紙教室】

開催日時 令和元年11月28日(木) 13:30~16:00

開催場所 JA高知県幡多地区本部
(四万十市右山五月町7番40号)

講師 夕部真理さん

参加費 500円

お申込みは、幡多地区本部の女性部事務局(山添0880-34-5555)までお気軽にどうぞ。

家の光新刊図書のご案内

●漬ける、干す、蒸すで上手に使いきる 食べつなぐレシピ

按田優子著・定価:1,512円(税込)

水餃子で人気の「按田餃子」店主直伝、食材を上手に保存してムダなく食べつなぐアイデアレシピ。お金をかけなくても、ちょっとしたひと手間でおいしいものが食べられる!



●パラパラじゃなくていい! 最高のチャーハン50

定価:1,080円(税込)

油控えめでうまみ調味料不使用のヘルシーチャーハンを50レシピ紹介。定番からごちそう、糖質オフまで、毎日食べても飽きないラインナップ。間違いなくおいしいチャーハンが作れる!



●なにしろ、親のごはんが気になるもので。

金子文恵著・定価:1,404円(税込)

遠距離介護を続ける著者の実体験から生まれた親ごはん。主菜と副菜を1食ずつ詰め合わせた「冷凍おかずセット」は、栄養バランスはもちろん、解凍してもおいしくて柔らかいなど、高齢者に食べやすい工夫が満載。

